

# 相談支援従事者現任研修 受講年度の確認票

大阪市障害者福祉・スポーツ協会

相談支援専門員として業務を継続するには、初任者研修を修了した翌年度から5年度毎に現任研修を受講する必要があります。

受講申し込みの前に現任研修を受講しなくてはならない時期をこの票で確認してください。

## 【確認票記入の手順】

1. まず、あなたの相談支援従事者初任者研修の修了証書に記載のある年度を、「起点 初任者研修」に記入します。

過去に「障害者ケアマネージメント従事者研修」(H11年度～17年度に実施)を修了した方は、その後の「初任者研修1日研修」(H18年度～23年度まで実施)を修了した年度が「起点・初任者研修」となります。

2. 続いて、「起点 初任者研修」の次の年度を「1回目 現任研修」の①に記入し、「3回目」⑤まで順次記入します。

3. すでに現任研修を修了している方は、それぞれの修了証書に記載の年度を○で囲んでください。

4. 現任研修を修了した年度の属する期間中は、再度現任研修を受講する必要がありません。今後、現任研修を受講する時期を確認してください。

起点 初任者研修	1回目 現任研修					2回目 現任研修					3回目 現任研修				
	①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤
年度 修了	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度

- 【注意】
- ・1回目・2回目・3回目 のそれぞれの期間毎に1度受講しないと、相談支援専門員の資格が失効します。
  - ・相談支援専門員の資格が失効している方は、現任研修の対象ではありません。
  - ・1つの期間中に、複数回現任研修を修了しても、次の期間は改めて受講する必要があります。
  - ・主任相談支援専門員を修了された方は、現任研修を修了したものとみなされます。

※本紙を提出する必要はありません。ご自身の受講年度を確認する参考資料としてください。

項目	チェック	チェック項目
受講申込書 及び推薦書		配慮すべき事項の必要・不要は記入しましたか
		初任者研修等の修了年度は記入しましたか
		直近の実務経験年数（過去5年分）は記入しましたか
		現在担当している相談ケース数は記入しましたか
		インターバル受入先（市区町村名）は記入しましたか
		受講申込者署名欄に本人が署名（自筆）しましたか
		推薦書の法人名等を記入し、法人印を押印しましたか
		理由書を作成しましたか（推薦書を作成していない方のみ）
		情報提供の同意確認欄で了承の可・否を記入しましたか
		すべての項目で記入漏れはありませんか
返信用封筒		宛先は受講申込者個人の住所になっていますか
		宛先が事業所等の場合は受講申込者氏名を並記してください
		複数の申込書を一括送付する場合でも、返信用封筒は申込者1名につき1通作成してください
		封筒のサイズは「長形3号」、切手は84円ですか
		宛名の敬称は「様」と記入してください
添付すべき 修了証書の写し		相談支援従事者初任者研修の修了証書の写し
		現任研修の受講経験がある方は、前回受講された現任研修の修了証書の写し（主任研修の修了証書でも可）
封入すべき 書類等確認		受講申込書及び推薦書
		返信用封筒（申込者の人数分）
		添付すべき修了証書の写し
		送付する封筒に「現任研修関係書類在中」と記入しましたか

※本紙を提出する必要はありません。提出書類の確認にご活用ください。